

一般

**平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)**

評価対象事務事業名		農業集落排水施設使用料賦課事務			事業コード	0821
担当課等	所属名	上下水道局 料金課		担当係名		
	課長名	佐々木正宏	担当者名	樋沢 満	電話番号	6102

**1. 事務事業の基本情報**

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	健全な水環境・良好な水循環の創出	コード 6
	基本事業	汚水処理の充実	コード 1	関連予算 費目名	農業集落排水事業費特別会計 1款 1項 1目 農業集落排水施設管理事業(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 平成2年度～)		
事務事業の概要	農業集落排水施設使用者に対して施設使用料を賦課する					
根拠法令等	盛岡市農業集落排水施設条例					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
平成2年の太田地区農業集落排水施設の設置に始まり、農業用排水域の保全や生活改善を目的としたものである。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
使用者数の的確な把握が求められる。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
地域環境に対する市民の関心が高まっている。						

**2. 事務事業の実施状況(Do)**

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	施設使用者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 使用者数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 使用者の届出による世帯数及び人数の確認 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 賦課件数	単位	件
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	適正な賦課	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 平成14年度を100とした使用者数の率 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	衛生的な水環境が確保される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	汚水処理人口普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	利用者数	人	8034	7,948	8,059	7,937	8,059	8,059	27年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	賦課件数	件	1979	1,988	1,985	2,025	1,985	1,985	27年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	平成14年度を100とした利用者数の率	%	108.45	107.28	108.79	107.14	108.79	108.79	27年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	3,809	3,873	3,873	4,366	4,400	4,400	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	3,809	3,873	3,873	4,366	4,400	4,400	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	3,809	3,873	3,873	4,366	4,400	4,400	*****
	延べ業務時間数	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,809	7,873	7,873	8,366	8,400	8,400	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 施設使用者に対する適正な賦課は、施設の維持管理等と賦課分の関係にあり快適な生活環境に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 農業集落排水施設の維持管理に充てるため使用料を徴収しており、市条例により賦課するため、当該事業は市で行う事業である。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 農業集落排水施設利用者に限る。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 農業集落排水施設使用料について、下水道使用料改定に合わせて平成22年5月計量分からの使用料改定を行った。 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 使用者実数の把握
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 公共用水域の水質汚濁
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 公共下水道事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 制度上の相違がある。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 経済的な事業費で運営している。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 計算業務委託できるものは実施済みである。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 農業集落排水施設の使用負担を意図としている。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 届出漏れによる賦課漏れの防止

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 世帯リストの有効利用 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 世帯リストによる人数確認文書の送付
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ② 有効性      ○ 妥当              ● 見直し余地あり : ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり : ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり :	(2)全体総括(振り返り、反省点) 賦課台帳と住民基本台帳の突合やお客様からの家族状況等の情報把握に努め、より正確な台帳の整備に心がけながら、適切な賦課業務を行った。 農業集落排水施設使用料について、下水道使用料改定に合わせて平成22年5月計量分からの使用料改定を行った。		
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了   <input checked="" type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 廃止   <input type="checkbox"/> 休止                 </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			
				
方向付けの理由と改革改善の内容 平成22年5月計量分から公共下水道に合わせ平均14.3%の使用料改定を行い、予想どおりの収益の増加があったものの、そもそも農業集落排水施設の汚水処理費用に見合った使用料となっていなかったことから、一般会計からの繰り入れが引き続き継続している。今後もこの傾向は続くものと予想されるが、少しでも一般会計からの繰り入れを少なくするためにも、使用料の改定を検討する必要がある。				